

入院診療計画書（ ロボット支援腎摘除術を受ける患者様へ ）

ID番号

@PATIENTID

氏名

@PATIENTNAME

様

生年月日

@PATIENTBIRTH

性別

@PATIENTSEXN

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM

号室

病名（他に考える病名）

症状

担当医師

@USERNAME

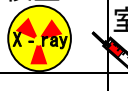
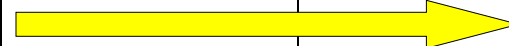
印

担当看護師

担当薬剤師

その他の担当者

@SYSDATE

月日	手術前日（ / ）	手術当日（ / ）		術後1日目（ / ）	術後2日目（ / ）	術後3日目（ / ）	術後4～6日目（ / ）～（ / ）	術後7日目（ / ）	術後8日目（ / ）
経過	入院	術前	術後						退院
目標	手術に向けての準備ができる 	コンディションのいい状態で手術を受けることができる 		ベッドの上で起き上がることができる	病室内を歩くことができる	病棟内を歩くことができる	病院内を歩くことができる	退院に向けての準備ができる	自宅療養の留意点が理解できる 
検査	採血を行います。 レントゲン検査があります 		術後病室に戻ってから、採血をします 	朝、採血をします 病室でレントゲン検査があります 	朝、採血をします。 車いすでレントゲン検査室へ行きます 		術後4、6日目の朝、採血があります		
処置	臍処置をします 主治医が、手術部位にマーキングします	朝までに排便がなければ坐薬を使用します 血栓予防のためのストッキングを履きます （ストッキングは看護師が準備します）	心電図モニターを付け、酸素を投与します 手術中に傷の近くに管が入ってきます 血栓予防のため足に機械をつけます			ドレーンの量、性状によって管が抜けます タイミングは担当医師が判断します			
点滴		朝一番の手術の場合は手術室で、午後から手術の場合は、午前中に病棟で点滴を行います 		点滴が続きます 		食事がとれるようになれば、点滴終了します			
内服	薬剤師が薬の内容を確認します 継続していてもいいか医師に確認後お伝えします 夕食後に下剤を内服します 	朝の薬については、麻酔科医師の指示に従って内服していただきます 		医師の許可が出たら、普段内服している薬を再開します 					
食事	夕食までは、通常通りに食事ができます その後指示により絶飲食となります。詳しい時間は説明します 	朝から絶食です 絶水は手術開始時間で異なります 月 日 時 ～食事禁止 月 日 時 ～水分摂取禁止 		医師の許可が出たら、水分開始になります 	昼から食事開始になります 本日はお粥が出ます 	昼から常食になります			
清潔	入浴していただきます 			体拭きを行います 			傷の近くの管が抜ければシャワー浴ができます 		
排泄			手術中におしっこの管が入ります 			トイレまで歩けそうならおしっこの管が抜けます 尿量を計って紙に記載します トイレ歩行が困難な時には尿器やポータブルトイレを使用できます	尿量確認のため、退院まで尿量を計って紙に記載します		
行動	行動の制限はありません	看護師、医師と共に歩いて手術室に入室します 歩くのがつらい場合は、車椅子などで入室します	手術後はベッド上安静です 寝返りしたいときは、看護師が手伝います	痛みが落ち着いていれば病棟内を歩くことができます 最初は看護師と歩きましょう			病院内を自由に歩くことができます 		
説明	看護師が、手術の必要物品の確認と、手術前後の予定について説明します 麻酔科医師と、手術室看護師が訪問に来ます 		手術終了後、家族の方へ医師より説明がありますので、病室または8階のフロア内でお待ちください 	尿量の記載方法を説明します 			退院後の生活の注意点について説明します	看護師が、次回の予約について説明します 	

注1）病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2）入院期間については現時点で予想されるものです。

注3）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

特別な栄養管理の必要性

有 ・ 無

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号 (No. 397) 承認月日（令和8年7月6日）

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名：

続柄：